

■ 主な内容

- 2-3 キララフェスティバル 2017
- 4-5 【催し・募集】【お知らせ】
- 6-7 【健康・福祉】 不妊・不育症治療費を助成



あの興奮、再び

京田辺で国際自転車ロードレース

バルーンを叩きながら大声で応援する普賢寺小学校の児童ら



木漏れ日が美しい山岳賞ポイントには多くの観客が（高船農村広場前）

興 味の有無に関わらず、見た者はその迫力に圧倒される国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」。5月22日、快晴の中、二度目となる京都ステージの火ぶたが切られました。

奮 闘する選手を間近で見ようと、スタート地点の普賢寺ふれあいの駅や沿道にはたくさんの観客が。大歓声と拍手がアップダウンの激しいコースで戦う選手を勇気付けました。

再 会できた喜びに、観客のボルテージも最高潮。風のように駆け抜ける姿を楽しんだ観客からは、「また来年も帰ってきて！」という声もたくさん聞かれました。

び っくりしたのは平日にも関わらず5万人もの観客が訪れたこと。昨年に引き続き観戦した人も、初めての人も、思い思いに国際的な一大イベントに酔いしれました。



同志社大学京田辺キャンパスを軽快に走り抜けるセレモニーラン



① 玉露レディが選手や観客に特産玉露をPR（普賢寺ふれあいの駅）② 普賢寺幼稚園児と同志社大学応援チアリーダー部の学生がダンスを披露（普賢寺小学校前）③ 同日開かれた自転車教室「ウィーラースクール」（草内小学校）④ 表彰式では、石井市長が山岳賞の受賞者にレッドジャージを贈呈（けいはんなプラザ）



セレモニーランスタート
地点の普賢寺ふれあいの駅には、95人の選手がずらり。撮影タイムには、山田京都府知事・石井市長・木村精華町長が「市制20周年」の横断幕と共に並ぶ一幕も